

令和 6 年

第 9 回教育委員会会議録

(開会 令和 6 年 8 月 19 日)

(閉会 令和 6 年 8 月 19 日)

岐阜県可児市教育委員会

令和 6 年 8 月 19 日 午前 9 時 00 分開会

会場：市役所 4 階第 3 会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

長井知子君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

欠席委員

梶田知靖君（教育委員）

小栗照代君（教育委員）

説明のために出席した者

飯田晋司君（事務局長）

水野 修君（教育総務課長）

木村正男君（学校教育課長）

水野伸治君（学校給食センター所長）

三宅愛彦君（学校教育課主任指導主事）

石黒智子君（教育研究所主任指導主事）

古野 寿君（学校教育課指導主事）

村井伴成君（教育研究所指導主事）

只腰知子君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村雄大君（教育総務課総務係長）

伊藤師啓君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第23号 教育に関する予算の意見について（令和6年度可児市一般会計補正予算（第2号））（原案可決）

②議案第24号 令和5年度可児市教育委員会事務の点検・評価について（原案可決）

③議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。

これから令和 6 年第 9 回の教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということで、よろしくお願いします。

なお、本日は、この後10時から定例記者会見がございまして、事務局長、教育総務課長、学校教育課長、加えて主任指導主事、担当の指導主事、計 5 名がこの記者会見に出席ということでございますので、9 時45分頃に会議を途中退席させていただきます。都合上、会議の進行の順番を前後させていただきますので、よろしくお願いいたします。

前回会議録の承認

- 教育長（堀部好彦君） では、前回の会議録の承認について、教育総務課長、お願いします。
- 教育総務課長（水野 修君） 前回の会議録に変更はございません。
- 教育長（堀部好彦君） 変更はなしということで、よろしくお願いします。

議事

- 教育長（堀部好彦君） それでは、先に議事に入ります。
- 事務局長（飯田晋司君） 議案書を御覧ください。

表紙の裏ページ、目次のとおり、議案が 3 件です。

議案第23号 教育に関する予算の意見について（令和 6 年度可児市一般会計補正予算（第 2 号））、議案第24号 令和 5 年度可児市教育委員会事務の点検・評価について、議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上 3 件についてよろしくお願いします。

- 教育長（堀部好彦君） 本日の議事の議案第23号 教育に関する予算の意見について、議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について及びその他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録について、不登校児童生徒の状況についてに関しては、意思形成に関わる案件や個人情報、プライバシーに関する情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、これらの件については非公開とします。

それでは、議案第24号 令和 5 年度可児市教育委員会事務の点検・評価についてを議題とします。

- 教育総務課長（水野 修君） それでは、議案書の 3 ページをお願いいたします。

議案第24号 令和 5 年度可児市教育委員会事務の点検・評価について。

令和 5 年度可児市教育委員会事務の点検・評価を別紙のとおり決定する。令和 6 年 8 月19日提出、可児市教育長 堀部好彦。

それでは、別紙 1 の資料をお願いします。可児市教育委員会事務の点検・評価報告書

になります。

内容の説明につきましては、7月18日に開催いたしました教育政策会議において説明させていただきましたので、ここでは省略させていただきます。

なお、この本報告書につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、作成したもので、御承認いただいた後は議会に提出し、その後、公表を行います。以上でございます。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。

前回、丁寧に説明をしていただきましたので、よろしいですね。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件について承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については承認をいたします。

各課所管事項

- **教育長（堀部好彦君）** 続いて、各課所管事項です。
- **事務局長（飯田晋司君）** 私からは、市議会関係でお話をさせていただきます。

令和6年の第3回の臨時会が8月7日に開催されました。

委員の皆様のお手元に資料として、議会の正・副議長や委員会の名簿をお配りしております。そちらを御覧ください。

議長、副議長、各委員会構成メンバーが交代ということでお配りしております。ただ、議長、副議長についてはこれまでと変わらず、議長 澤野さん、副議長 高木さんの顔ぶれのままと決定しております。

また、教育福祉委員会を見ていただきますと、こちらも委員長、副委員長はこれまでと変わらず、川合さん、渡辺さんのお二人となっております。

教育福祉委員会の構成メンバー7名、従来どおりなんですけれども、この中で替わったのが、この委員会の上から5人目、野呂さんがほかの委員会のほうから替わってこられたということで、もともと松尾さんが教育福祉委員会に見えたんですけれども、松尾さんとの交代というか、松尾さんがいなくなって野呂さんが入ってこられたという構成で、この臨時会から委員構成が変わったということでございます。

例年、議会、先方からの申出で、教育福祉委員会と教育委員会との懇談を行っております。今年度もそのような機会があるかと思っておりますので、御承知おきください。

それから、第4回の定例会が8月21日から9月25日までの会期36日で予定されています。本日の議案第23号についても、市議会の議案として上程する予定であります。一般質問が9月3日、4日の2日間にわたって行われる予定です。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **教育総務課長（水野 修君）** 私からは、今年度、教育委員会で行っております大規模な工事が始まっておりますので、その進捗状況についてお話をさせていただきます。

す。

まず、スマイリングルームにつきまして、ほぼ施設としての工事は終わっておりまして、あと残すはちょっとしたところだけになります。配線の工事ですとか、機器の搬入ですとか、机の搬入、そういったところになってきますので、間もなく完全な完成、多分9月上旬にはできるのではないかと考えております。

それから、桜ヶ丘小学校の長寿命化工事でございますが、現在解体をしているところで、工事に入りましたので御承知おきいただきたいと思います。

それから、トイレの洋式化につきましては、今渡北、今渡南、春里の各小学校、それから中部、蘇南の各中学校につきましても工事に入っております、現在解体をしている最中でございます。こちらのほうも御承知おきいただきたいと思います。

それから、中学校のLED化工事につきましては、蘇南中学校は完了しております。それから、中部中学校についてもほぼ完了しているところでございます。あと、西可児、広陵、東可児の各中学校については始まったばかりとなっておりますので、またよろしくをお願いします。

また、工事の進捗につきましては、逐一御報告をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

私からは以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

この夏、猛暑の中、いろいろな工事が予定どおり行われていること、本当に工事関係者に感謝を申し上げたいと思いますし、教育総務課の御担当の方々の御努力につきましても改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

○ **学校教育課長（木村正男君）** では、よろしくお願いします。

前回の教育委員会会議以降の学校の動きをお伝えします。

この前お伝えしたように、7月20日より小学校、中学校は夏季休業に入っております。おかげさまで大きな事件・事故はないと聞いております。学校の授業の始まりは8月29日木曜日からを予定しております。夏休み明けの授業開始まで2週間ない状態になってきていますが、うまく夏休み明けの生活がスタートできるように見守っていきたいと思っております。

学校授業・生活開始後、全ての学校の生徒指導主事と連絡を取り合って、気になる児童・生徒の夏休み中、または夏休み明けの様子を確認していきたく思っております。必要に応じて気になる児童・生徒への働きかけや必要に応じてケース会議も、必要であれば開いたりして見守っていきたくと、もしくは声かけをしていきたく思っております。

また、校長会、教頭会においても、例えばSOSの出し方の教育に係る実践などを繰り返し啓発して、不安定になりがちな児童・生徒への早期の対応について依頼していきたくと考えております。

この後ほどですが、生徒指導、教育相談に関わる詳細については各担当より説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育研究所主任指導主事（石黒智子君）** では、別冊の、一人一人のニーズに応じ

た多様な学びの場の拡充に向けてという資料を御覧ください。

今回は、スマイリングルームについて御報告します。

9月18日にオープニングセレモニー、そして10月15日に開校ということで準備を進めているところです。

まず、(1)にスマイリングルームの通級児童生徒数をお示ししています。本年度も前年度を上回る通級児童生徒数になりそうです。今回の増設により、多様な学びに向けた機能の充実を図ることができます。

(2)にありますように、3種類の支援の充実を図っていきます。現在は総合会館にある教育研究所の一部屋と壁で仕切った空間で行っている支援ですけれど、可児川苑を「スマイリングルーム」という名称で教育支援を、現在使用している総合会館の部屋は「ニコニコルーム」という名称で自立支援を、児童・生徒の自宅からタブレットを利用した「メタスマルーム」という名称でメタバース支援の充実を図ります。現在は部屋が不足して急な相談に対応し切れないときが多々ありますので、増設していただくことで各担当者の活躍する機会が増え、大変ありがたく思っております。

この資料には記載していないんですけれど、夏休みに入ってから、つながりサポーターはほぼ毎日家庭訪問をしています。そのつながりサポーターが家庭訪問してつながった児童・生徒とメタバースの先生がつながってメタバースに参加ができた例も数件あります。本年度はメタバースの内容がさらに充実しており、一こま当たり約1時間30分を目安に1人ずつの対応をしますが、1日に午前・午後で4こまが最大行え、夏休みはほぼ毎日全てのこまが埋まっています。内容も、児童・生徒の興味・関心を高めるために、学習のほかにもパズルや迷路などの工夫ある仕掛けが施されています。

次に、先ほど御紹介しました施設の名称についてですが、裏面、(3)にあります、スマイリングルームスタッフと通室している児童・生徒の案を基にして3つの名称が決まりました。既に親しみ慣れた名称を活用しています。

また、(4)に開校日までのスケジュールを掲載しております。9月18日のオープニングセレモニーには、教育委員の皆様にも、御都合がよろしければ、施設見学などがございますので、お越しいただければ幸いです。

余談ですが、教育研究所では、夏休み、各指導主事が夏季研修講座を企画・開催しています。まだ継続開催中ですので、次の会議で詳細を御報告いたします。

私からは以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございました。
- **学校給食センター所長（水野伸治君）** 私のほうから、本日特にございませぬ。
- **教育長（堀部好彦君）** 今、各課からお話がありましたが、御質問、御意見ございますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

では、私からは、今、教育研究所から説明がありました多様な学びの場の拡充に向けての、この件について2点お願いをします。

まず1点目ですが、細かいところなんです、教育支援センター、括弧書きでこの文言があるんですけれども、校内教育支援センター及び、これは次は校外教育支援センタ

一というような言い方があるんですかね。教育支援センターと校内教育支援センターなのか、校外教育支援センターと校内教育支援センターなのか、どちらですかね。

○ **学校教育課長（木村正男君）** 文部科学省がそもそも言っているのは、適応指導教室と言っていたものを教育支援センターという名前をつけましたので、そこが校外として位置づけられていますので、校外はつけず、その名称となります。

○ **教育長（堀部好彦君）** 分かりました。

今、各校で進めつつあるのが、これは校内ということですね。

○ **学校教育課長（木村正男君）** はい。

○ **教育長（堀部好彦君）** では、私たちもその文言の使い分けをきちっとしていきたいと思います。これが1点目です。

もう一点目ですが、今日の記者会見でも多分この資料を使われると思うんですけども、新たな不登校対策のリーフレットのことも含めて、国が言っている学びの多様化に向けて、今、可児市はさらに一步踏み出そうとしている、踏み出しているという状況です。その中で、私たち、教職員も含めてなんですが、一つの意識改革というか、改めて大切にしていきたいことを確認したいと思います。

というのは、学びの多様化の意味するところなんですが、1つは学校に必ず行かなくちゃいけないということではない、これはいいですよ。学校一つが唯一学びの場であるんだと。無理に、例えばスマイリングルームに在籍している子を最終的に学校に行くことが目標なんだというようなことではないということ、これを再確認したいということと、それから学びの多様化というのは、もっとさらに言うと、子供たちの学びの場は学校だけではない。スマイリングルームも、ニコニコルームも、メタスマルームも同等に学びの場として位置づけていきたいと思っています。理想を言えばです。ニコニコルームにいて、メタスマルームにいてもきちっと学びが成立して、その子の進路が開ける、そういった取組にしていきたいと思っています。

子供たちの自分の意欲の中で、最初、メタスマルームだったんだけど、次、ニコニコルームへ行ってみたいなとか、ニコニコルームだったんだけど、スマイリングルームに行ってみたいなと、学びの場を自分で選んでいくことは当然あるかと思うんだけど、こちらが常にニコニコルームの次はスマイリングだぞ、スマイリングの次は学校だぞとか、スマイリングの次は校内教育支援センターだぞみたいなものを子供に強いるということは、国が言っている学びの多様化とは少しずれるんじゃないかと思っています。この辺りの再確認とか私たちの意識改革、学びの場は一つ一つ同等にあるんだということを確認していきたいと思ひまして、蛇足かもしれませんが話をさせていただきました。

その他

○ **教育長（堀部好彦君）** では、次にその他に行きたいと思います。

次回の日程等です。

○ **教育総務課長（水野 修君）** 次回会議の日程についてですが、9月19日木曜日の午後1時30分からということで、よろしくお願いをしたいと思います。場所は市役所5階第2委員会室になります。よろしくお願いいたします。

その次の10月に日程については、現在調整中でございます。よろしくお願いいたします。

す。以上です。

(以下非公開)

(以上非公開)

教育長報告

- **教育長（堀部好彦君）** 今日いろいろ順番が入れ替わっているんですけども、ここから教育長報告とさせていただきますとよろしいですか。

では、今日、長井委員も、伊藤委員も、またいろいろ報告があるかと思うんですけども、よろしくお願いをします。

私からは、7月23日の可児っ子海外交流訪問団の表敬訪問についてと8月5日の第48回全国高等学校総合文化祭合唱部門の開会式、この2点についてお伝えをしたいなというふうに思います。

まず、可児っ子海外交流訪問団の件ですが、5年ぶりでしたか、コロナの影響でオーストラリアへの訪問が滞っていたんですけども、それが再開されたということでございます。市長とともに、この表敬訪問の場に参加をさせていただいて印象に残ったことが1つございましたので、お伝えをしたいと思います。

団長、副団長の語りです。団長、副団長は高校生でした。中学生、高校生の訪問団なんですけれども、団長と副団長が代表で決意を語っていました。その中で、副団長の女子高校生の語りが大変印象的でした。なぜこの訪問団、オーストラリアに訪問する取組に手を挙げたのかという理由を語っていたんだけど、この子は今渡北小学校を卒業し、蘇南中学校を卒業し、今、高校で頑張っている子です。今渡北小学校時代の話をしてくれました。

友達にたくさん外国籍の子たちがいた。その子たちといろいろ話をしていると、外国籍の子供たちは自分の思いをなかなか友達や先生に分かってもらえない、その苦しさ、悔しさをその子には語ってくれていたようです。そういった状況をこの子なりに捉えて、自分はもっともっと外国籍の仲間の気持ちが分かる人間になっていきたい。そういった思いでオーストラリアで外国人の世界にどっぷりつかる中で、今言ったような共感できるような学力、語学力、経験を積んでいきたいということだったんだけど、さらに彼女が言っていたのは、海外交流訪問を自分自身の夢と結びつけて考えている。その夢は、教員になりたいという夢です。外国籍児童・生徒の思いにより寄り添っていける、そんな教師になることを夢見て、そういった志を持ったオーストラリアへの訪問であるということのようでした。大変私うれしかったし、感動して、当時の今渡小学校や蘇南中学校の教職員が決してなまけていたわけではないんだけど、まだまだ足りないところがあったんでしょう。そこを踏まえた彼女の志に本当に期待をしていきたいと思いました。これが1点です。

2点目は、高校総合文化祭の合唱部門の開会式が8月5日に行われました。この開会式に私は当初、市長とともに参加ということで挨拶は特に求められてはいなかったんですけども、a l aで開催ということで、この全国の高校総合文化祭の合唱部門が可児

市で行われるということで、市長のみならず教育長も参加をしてほしいというようなことでした、当初ね。それが市長が急遽欠席ということで、私が当日朝聞いて、それで開会式で話をさせていただきました。そのときにどんなお話をさせていただいたのかということをお伝えしたいと思います。

まずは市長の思いをお伝えしたいということで、全国の高校生が集まって a l a の一番大きいホール、大ホールで自身が日々練習してきた曲を披露するわけですが、市長としては可児市へようこそと、歴史あるまち、自然豊かな可児市へようこそということとともに、合唱を通して全国の仲間との交流を楽しんでくださいというような思いを持っておられるということを思いましたので、それをお伝えするとともに、私、教育長としてお伝えをしたのは、大変大きなことを言ったのかもしれませんが、昨今の世界情勢からお話をさせていただきました。

つまり、かの地では、今、自国の歴史や文化というものが、民族の歴史ですよ、そういう民族の文化がなくなってしまうのではないかな、奪われてしまう、破壊されてしまうのではないかな、命とともにね、そんな状況がある。文化をつくっていく文化創造センター a l a で、皆さんが文化をつくっていく、交流する文化祭なんだけれども、かの地では、そういった文化、歴史がなくなってしまうかもしれない状況が、本当に自由と平和というものが文化の創造には必要だよという話を高校生に投げかけさせていただきました。交流を楽しむとともに文化を創造していく値打ちを感じる、そういった中で自由と平和についてもじっくり考えていってもらえると、教育長としては大変うれしいですという話をさせていただきました。

私からは以上です。

教育委員報告

- **教育委員（長井知子君）** 教育委員としての活動は特にありませんでした。

最近、地震が多いですけれども、前にお話ししましたが、PTAで防災のイベントをやったときに、私も勘違いしていたのですが、よく勘違いされることがあると岐阜大学の村岡先生がおっしゃったんですけれども、防災というと、新聞紙でスリッパを作れるんですね。そういうことも習ったりとかするんですけれども、実際、地震が起きたときは、窓ガラスが割れ、物が倒れるので、新聞紙でスリッパを作ればいいやと思いがちなんですけれど、実際は作ったとしても、けがをしてしまうので、本当は地震対策として枕元に靴を置いておくのがいいんだよ、そうしましょうということをおっしゃっていました。

子供たちは、自分の命は自分で守れるようになってもらいたいなと、地震が起こるたびにそう思います。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

今回の宮崎の地震はまた特別な地震であって、南海トラフの地震において臨時情報が初めて発令されました。この臨時情報発令の際の教育委員会の動き、学校の動きということについては、以前もこれは文書で示していました。なんだけれども、実際起こってみる、そして世の中のそのときの動きや、政府や報道機関の動き等を見せていただくと、前回配った臨時情報が出たときの対応に、これはちょっと変えたほうがいいところも明

らかになってきました。

ですので、今度の校長会、教頭会で、この臨時情報が出たときの各校の対応について、改めて啓発をしていきたいと思っています。本当に考えることがいっぱいあるんですけれども、やれることをきちっと伝えていかなければいけないと思います。ありがとうございます。

- **教育委員（伊藤小百合君）** よろしくをお願いします。

私も教育委員としての仕事はありませんでした。

私ごとなんですけれども、日頃から車を運転するので、交通安全には気をつけて運転するように努めているんですけれども、先日、夏休みに入ったぐらいに、ちょうど高校生がすぐそばを走っていたので、あまり学生がいっぱいのところはなるべく通らないようにはしているんですけれども、たまたまそばを走っていたところ。

- **教育長（堀部好彦君）** ランニング。

- **教育委員（伊藤小百合君）** 違います。高校生が自転車で。

- **教育長（堀部好彦君）** 自転車ね。

- **教育委員（伊藤小百合君）** すみません。自転車で走っていて、ほぼ並走みたいな、私の車と並走みたいな感じで。ちょっと怖かったのでゆっくり走っていたんですけど、驚いたことに、ヘルメットもかぶってきちんとしていたんですけど、すぐ横断歩道があったんで止まるのかなあなんて思いながら私も運転していたんですが、その子が後ろも振り返らずに、そのまま斜めに横断して行って、えっという感じで、自分も。ゆっくり運転していたから巻き込まずに済んだとは思っているんですけど、何か身近にあまりそういう危ないというのを特段感じたことがなかったので、たまたま一応自転車通学している子供も一緒に乗っていたんですけど、あれはやめようねと。

自分で、その子がどう思っていたのか分からないんですけど、車が止まってくるとか、あまりそういうのを気にせずにはただぱっと斜め横断したのか、それは分からないんですけど、自転車に乗っている、もちろん車の運転手だって、それもそうなんですけれども、自転車に乗っていて危ない、いつ危険にさらされるか分からないというのを常日頃心に留めて、自分で命を守らなきゃいけないということを頭に、なかなか忘れがちになってしまうんですけど、そういうものも、中学校では自転車通学をしている生徒さんも見えるので、先ほど言われたＳＯＳの啓発を図るとありましたけど、それも併せて啓発していただけたらなというふうなことを思いました。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** 突然の斜め横断というのね。

私も似たようなことがあって、家から出勤するときの最初の交差点なんですけれども、自分は青信号で左折しようとしています。そこには横断歩道があるんですけど、私が左折するときには、当然、横断歩道は青ですよ。私が左折しようとしたときに、私の中では突然自転車が猛スピードで、生徒です。これは中学生だったのか高校生だったのかちょっと分からないんですけど、突然現れた感、私には突然感があったんですが、突然猛スピードで青の横断歩道を突っ切っていった。私、それに気づくのが遅かったら、ひいていたんじゃないかなと思っていて、左折するときには真横だけじゃなくて、後ろも確認しなければいけないということを思いました。あのときに、あの交差点は高校生も、小学生も、中学生も、よく朝の時間帯に通るところなので、本当に気をつけなければい

けないと思ったんですけど、そういった交通安全教育には、今、伊藤委員が言われたような具体的な想定ですよね。こういうときに、こんな心配なことがあったよと御自身の子供さんに言われたように、そういった具体的な事例で子供を指導していくということが大切だと思いますね。

先ほどの生徒指導担当の報告にもあって私も取り上げた、ヘルメットをかぶるよりも、ヘルメットをしっかりとかぶる。そのしっかりとというのはどういうことなのと、やっぱりここまで教えるということが大切だと思いました。ありがとうございました。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** 次に、教育委員からの提案協議事項についてを議題とします。

何かありますでしょうか。

よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** では、今日は順番がいろいろ入れ替わってございましたけれども、以上で全て終了ということでございますので、これにて教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。ありがとうございました。

閉会 午前9時58分